

企業ニュース UUUM

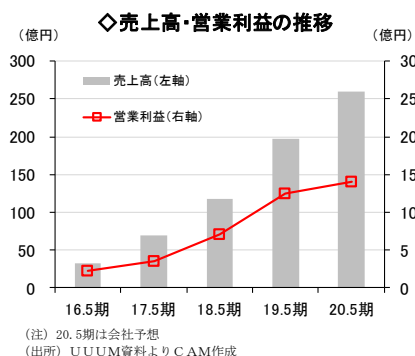
(東証マザーズ : 3990) <https://www.uuum.co.jp/>

作成者: 村上大志

ユーチューブ向けクリエイターのマネジメント最大手

2013年、設立。「YouTuber※」のマネジメント最大手。主な収益源は専属クリエイター (YouTuber) の動画内に流れる広告収入と、顧客企業の商品やサービスを紹介するタイアップ動画に対するプロモーション料。当社の強みは人気YouTuberを多く抱えていることで、2019年6月末時点のチャンネル登録者ランキングTOP10のうち7つのチャンネルが当社専属クリエイターである。YouTuberは若い世代が憧れる職業の1つになるなど新たに成長する分野になっている。19.5期の事業別売上高構成比はアドセンス (ユーチューブからの収益) 59%、広告 (企業とのタイアップ案件) 25%、クリエイターサポートその他 (グッズ、イベント収入等) 11%、自社サービス (自社チャンネルやゲーム等) 5%。

※YouTuber : 動画共有サイト「ユーチューブ」に独自の動画を継続して公開している人物や集団



事業環境は良好、2桁の増収増益を目指す

19.5期の連結業績は、売上高が197億2,600万円、前期比68%増、営業利益が12億4,700万円、同74%増。全事業で増収を達成し、1月に上方修正した会社計画も上回った。当社専属YouTuberの動画再生回数が伸びたことでアドセンスが大幅に増加した。また、企業のユーチューブを利用した広告・宣伝も活発化し、タイアップ案件による広告収入も好調に推移した。営業利益率は6.3%、同0.2ポイント増。人件費や広告宣伝費、新規事業に伴う業務委託費を中心に販管費が増加したが、トップラインの伸長でカバーした。

20.5期の会社計画は、売上高が260億円、前期比32%増、営業利益が14億円、同12%増。新規事業関連費や移転費用などを見込み販管費が増加するが、アドセンスを中心としたトップラインの拡大で2桁の増収増益を目指す。ユーチューブはテレビに匹敵するほどの動画メディアに成長していることに加え、動画広告市場の拡大が予測されることから当社の事業環境は良好である。グッズやイベントなどの収入も増加傾向で、今後はさらなるビジネス範囲の拡大が見込めよう。

[株価動向・投資判断]

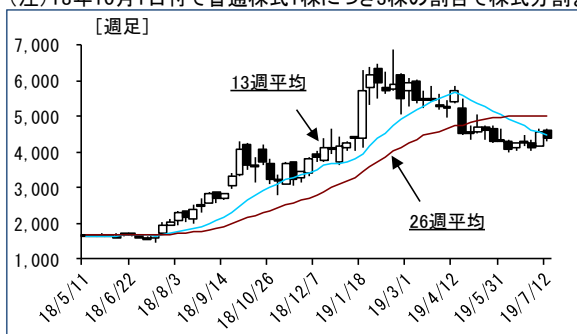
個人の発する情報の重要性が増す時代の中、クリエイターサポートに徹する当社への需要は拡大が予想され、持続的な成長が期待できよう。

<3990 UUUM 業績: 日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
18.5	11,735 (68)	716 (100)	703 (101)	406 (58)	68.0	0.00
19.5	19,726 (68)	1,247 (74)	1,247 (77)	889 (119)	47.8	0.00
20.5 予	26,000 (32)	1,400 (12)	1,390 (12)	880 (▲1)	46.1	0.00

(注) 18年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施。



[主要株価指標] (売買単位: 100株)	
株価 (2019/7/12)	4,405 円
年初来高値 (高値日)	6,870 円 (19/2/14)
同 安値 (安値日)	3,975 円 (19/6/7)
予想 P E R (20.5 予)	95.6 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	148.5 円
P B R	29.66 倍
予想配当利回り (1株当たり配当金年0.00円)	0.00 %
R O E (19.5)	38.3 %
発行済み株式数	1,909 万株